

【新聞活用学習】中学校３年生・保健体育科

「感染症とその予防」～新聞記事から考える自分の新型コロナウイルス感染症対策～

指定校１年次 安曇野市立豊科北中学校 吉田 咲子

（１）本年度のN I E活動の概要

本校では、平成 28 年度から「学び合い」の授業を取り入れ、本年度の重点目標を「自ら学ぶものへ」としている。令和元年度全国学力・学習状況調査によると、「授業の中で、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と感じている生徒は 84%と全国・県平均を上回っている。一方、「生徒間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と感じている生徒は 68%で、全国・県平均をやや下回り、学習活動が学びの深まりや広がりには至っていないという実態がある。そこで、新聞を活用する授業を通して最新の情報や様々な考え方に触れ、生徒自身が「友の考えを聴きたい、自分の考えを伝えたい」と思えるような必要感のある題材を扱うことが大切であると考えた。

保健体育では、単元「感染症とその予防」を取り上げ、自分自身がどのように行動すればよいのかについて考えた。新型コロナウイルス感染症対策は、年度当初の臨時休業、部活動や修学旅行、文化祭などの行事が制約されるなど、私たちの生活に密接した話題である。ワクチン接種の開始に当たり、その安全性やワクチン接種の対象者などについて記事から読み取り、自分の考えをまとめ、その考えをグループで話し合うことで、自分なりの感染症対策について考えた。

今後、他の教科・領域においても、考えを伝え合いながら、学びを深めていくための教材として新聞を活用する方法について探していきたい。

（２）本年度のN I E活動の取り組み状況（４月時点）

本校は全校生徒 356 人、16 学級（内特別支援学級 4）の中規模校である。生徒たちは新聞に触れる機会が少なく、SNS や映像から情報を得ることに慣れており、まとまった文章を読んだり、情報を整理したりする機会が少ない。また、例年、修学旅行や職場体験学習などの学年行事のまとめとして新聞づくりを行っていたが、これまで授業で新聞を活用する機会はあまり多くなかった。

（３）N I E活動のねらい（育てたい力）

本校では、重点目標「自ら学ぶものへ」の実現に向けて、自ら課題を見つけ、対象（教材）・友・自己と対話しながら没頭して追究する生徒の育成を目指している。

そこで教師自らが生徒たちにつけたい力を明確にした上で、新聞の中からその時に合った適切な教材を選定し、生徒に提示することで、生徒たちが教材に興味関心を持ち、「このことは実際どうなっているのだろう」「自分ならどう行動するべきだろうか」と主体的に考え、友の意見を聴いたり伝えたりしたいと願う授業を仕組むことで、「友との協働的な学びを通して深い学びを目指し主体的に学ぶ姿」を実現したいと考えて取り組みを進めてきた。

（４）全校での取り組み

① 新聞閲覧コーナーの設置

全校生徒が新聞を身近に感じられるように、図書館の前に新聞閲覧コーナーを設置した。2 時間目後の業間休みや昼休みに、新聞記事に目を通す生徒がいた。菅首相誕生、コロナ禍での部活動の大会の在り方、Go to Travel、レジ袋の有料化、アニメ映画「鬼滅の刃」の躍進など、自分たちに身近なところで起こっている大きな変化を伝える記事に興味を持ち、閲覧する生徒が多かった。

② 職員向け出前講座 8 月 21 日（金）実施

信濃毎日新聞社読者センターの方を講師に、新聞を書く目的や文章の構成、見出しの持つ効果などについて説明していただいた。新聞記事にする内容の取材のコツについても詳しく知ることができた。職業調べや高校調べ等、総合的な学習の時間での新聞作りに必要なポイントを学ぶことができた。

③ 1 学年総合的な学習の時間出前講座 12 月 18 日（金）、12 月 22 日（火）実施

本校 1 学年は、総合的な学習で「地域を学ぶ」というテーマの下に、自然、歴史、産業、防災の 4 つの講座を設け、グループで課題追究を進めてきた。調べ学習のまとめとして、模造紙やパワーポイントでの発表、そして新聞づくりを通して、他の講座の生徒に学習した内容を伝えることを目的にしている。

出前講座では、信濃毎日新聞社読者センターの方を講師に、調べたことを新聞記事にする方法について教えていただいた。取材したことや本から調べたことをそのまま書くのではなく、「自分が一番伝えたいことは何か」を中心に新聞を構成すること、5W1H に基づいて調べた内容をまとめることが大切であるということについて学んだ。

（５）公開研究授業などの活動内容

単元名 「感染症予防 ～コロナを題材に～」 3 年

I. 単元設定の理由

1. 本単元の特徴や魅力と年間計画での位置付け

本単元は、感染症の予防対策の概要を知り、日常生活や生涯にわたって感染症の予防をしていけるような行動・判断が行える力を養うことをねらいとしている。感染症の多くは感染源、感染経路を絶つことや体の抵抗力を高めることによって予防ができ、それらが感染症を予防するための共通する学習内容となっている。多くの感染症は身近にあり、自分と無縁の物ではないことを捉えることができれば、生徒の興味・関心を高め、意欲を高めて学習に取り組むことができると考えられる。また、医薬品の主作用副作用や身近な保健機関等についても知ることができれば、日常の生活と直結する意義ある学習となるだろう。

2. 生徒の実態

- ・自分に関係することと分かると意欲的に学習に取り組める生徒たちである。
- ・保健授業よりも体育授業を好んでいる傾向がある。
- ・身近な感染症としてインフルエンザ等が挙げられるが、それらについては大きな危機意識はなく、追究意欲を高めていく手立てが必要である。

3. 授業の工夫や指導の手だて

①保健の見方・考え方

個人及び社会生活における課題や情報を、健康や安全に関する **a 原則や概念**に着目して捉え、疾病等の **b リスクの軽減や生活の質の向上**、**c 健康を支える環境づくり**と関連付けること。

②単元の核心(単元課題)

生活と病気は大きく関係していることを知り、健康な生活と予防のための、思考・判断・表現力と態度を養うこと

③本質的な問い（単元を貫く学習問題）

- ・生活と病気にはどのような関わりがあるのだろうか？・・・a
- ・健康な生活と予防のために、どのように判断し、日々行動していけばよいだろうか？・・・b
- ・健康な社会を築くために、できることは何だろうか？・・・c

④自分ごととして考えられるように

新型コロナウイルス感染症の新聞記事を活用し学習していく。

⑤「対話的学び」「協働的学び」により「考えの広がり深まり」をねらう

考えを広げたり深めたりするために小グループによる「協働的学び」の中で、『新聞資料』『仲間』『自己』との対話により学習内容の意味と関係の編みなおしができるようにする。「情報の取り込み」「学習の振り返り」「思考したことの発表」という考えを広げたり深めたりしていく道筋（プロセス）をたどれるような単元展開や授業展開を考えていく。

⑥「深い学び」を実現する学び合い授業

思考を深めていく「段階的指導」と「思考ツールの活用」を取り入れた単元展開

Ⅱ．単元の目標

- ①感染症は、病原体が主な要因となって発生することや、感染予防のために発生源をなくす、感染経路を遮断する、主体の抵抗力を高めることが必要だと理解している。また、健康の保持増進や疾病の予防には、個人や社会の取り組みが重要であり、保健・医療機関を有効に利用することが必要であること、医薬品は正しく使用することを理解している。

【知・技】

- ②コロナを題材に、課題を発見し、解決に向け思考・判断し、表現している。【思・判・表】

- ③学習に自主的に取り組もうとしている。【態】

Ⅲ．単元展開

展開	予想 学習課題	生徒の活動	探究的な 学習の プロセス	評価	思考ツール 等
予	感染症について知り、自分の考えをもつ。	・予習を行い、感染症についての基礎知識を知る。	情報収集 (記憶)	知・理	教科書 保健ノート

1	感染症の予防対策について確認し、単元始めの自分の考えを書き留めよう。	・感染症、要因について確認する。【4人グループ】 ・感染症の3つの予防対策を確認する。(感染源、感染経路、体の抵抗力)【4人グループ】 ・コロナの記事を見て身近な感染症について、現在自分が知っていることや予防対策、問題、疑問について書く。【前向き】	情報収集(理解)	態	教科書 保健ノート 学習カード (裏にイメージマップ) 県内のコロナ感染者推移のグラフと記事
		・イメージマップを活用し、考えを広げたり関連付けたりする。【4人グループ】 ・考えを共有し、感染症について学習していく意欲を高める。【前向き全体】			
2・3	感染源、感染経路、(抵抗力)の対策について情報を収集し、どのように行動していったら良いかについて考えよう。	・Yチャートに記事の情報を書き込み、多面的に見たり、焦点化して考えたりする。【個々】 ・どのように行動していったら良いかについて、自分の考えを書く。【個々】 ・4人組で学び合う。【4人グループ】 ・全体で共有する。【全体】 ・自分の考えをまとめる。【個人】	情報収集 整理・分析	知・理	感染源、感染経路の記事 教科書 112 学習カード Yチャート メリット、デメリット
4	「体の抵抗力についての対策」の中でも、「予防接種」について知り、自分は予防接種を「受けるか」「受けないか」自分の考えをもてるようにしよう。	・抵抗力についてまとめる。【全体】 - ア.抵抗力の中で、リンパ球という白血球の一種が病原体と闘う働きを「免疫」ということを理解する。 - イ.予防接種は、病気と闘う抗体をつくる対策であることを理解する。 - ウ.医薬品である予防接種には、主作用と副作用があることを理解する。 - 予防接種を受けるか受けないかを自分ごととして考え、安全性への理解を広げ深める。【個々】	まとめ・表現 (メタ認知力)	思・判・表	抵抗力(ワクチン)に関する記事 教科書 113,120,121 学習カード Yチャート メリット、デメリット
5 (本時)	「予防接種」を「受けるか、受けないか」について考えることで、感染症対策についての単元終わりの自分の考えを広げたり、深めたりしよう。	・ワクチン接種に肯定的、否定的な2種類の記事を見て、考えを揺さぶる。【全体】 ・グループに1枚配られた「賛成反対グループカード」を見て、ワクチン接種をするかしないかについて理由を伝え合う中で、考えを広げる。【4人グループ】【全体】 ・感染症についての自分の考えをまとめ考えを深める。【個々】	まとめ・表現 (メタ認知力)	思・判・表	「英・高齢者ワクチン接種」「ロシアワクチン接種」の記事 賛成反対グループカード

(6) 生徒の反応

ワクチン接種に関しての二つの記事(ア. モスクワ大規模接種開始(ロシア)とイ. 手探りワクチン世界が注目(イギリス))を読んでグループで話し合う場面

K 生 「私は反対です。副作用が怖いから。」

S₁ 生 「予防接種したからといって100%コロナウイルス感染症にかからないわけではない。」

S₂ 生 「微妙なんだよね。最近のニュースでは、日本のワクチンは安全性が高いって。それが接種できたら、日本では安全性高いなら打ちたい。日本のなら打ちたいかな。外国

のはちょっと・・・」

T 「(考えが) 変わったね。いいんじゃない。」

S₂ 生 (ワクチンの安全性についてのプリントを確認) 「日本の医療は発達している。」

K 生 「めっちゃ個人的な話、注射が苦手なんだよね。」

S₂ 生 「すぐ終わるよ。何も痛くない。針見ちゃうから怖い。この記事 (イ.) から取り出して、ファイザーのワクチンの副作用が怖い。」

S₁ 生 「受ける人が限られてるってここ (ア.) に書いている。」

S₂ 生 「子どもとか逆に成長に悪影響? 成長を妨げるとか?」

(3人で記事を読み返す)

S₂ 生 「感染者が意外と多い。他の国は多い。」

ワクチン接種について、二つの記事とニュースで聞いた内容を考え合わせて話すことができた。ワクチン接種の効果への期待と、臨床試験が未完了である点や副作用の怖さを比較し、自分はワクチン接種をしたいかどうか、友の意見を参考に考え直す姿が見られた。

【生徒のワークシートより】

本時

前時

副作用がすごく辛いもの
かもしれないし、絶対に
コロナにかからないとは
限らないので、いくらお
金をつまれても受けたく
ないから反対。

賛成 ... 安全性が明確
にわかには打ちたい。

反対 ... 副作用への不安
多くの国での安全性の立証
恐怖感
予防接種への不安

「今、今後 どう関わっていく?」
徹底した手洗い、うがい、消毒等の感染予防対策はもちろんの事だけど、
要不求めの外出、特にクリスマス・年末の時期は、お店も大々展開するから、
見に行きたくなる。ちやうど、外に出る事を控えて、生活したい。
県をまたぐ移動はしない!!

前時は副作用を心配して頑なにワクチン接種に反対していたが、本時は友の意見を参考にして、賛成の考えも同時にもつことができた。「今、今後コロナウイルスとどう関わっていくか」について、「クリスマスや年末の時期はお店を見に行きたくなるけど、外に出ることを控えて生活したい。県をまたぐ移動はしない!!」と自分の実生活に照らして、自分が取るべき行動を考えることができた。

